

PET-CT 検査 説明書

1. PET-CT 検査（心サルコイドーシス）について

この検査は、 ^{18}F -FDG というブドウ糖によく似た放射性の薬剤を注射し、体内の糖代謝の状態を画像にする検査です。心サルコイドーシスは、心筋内に多数の炎症細胞が含まれ、糖代謝が盛んで FDG が集まりますが、正常の心筋も糖をエネルギーとしているため FDG が集まり、病巣との区別ができなくなります。そのため、長い時間、絶食状態にして血糖値を下げると、心臓は脂肪酸だけを代謝につかうようになるため FDG は集まらなくなります。この働きを利用するため、18時間の絶食時間が必要になります。通常より長い絶食時間が必要になることをどうか御理解下さい。

2. PET-CT 検査（心サルコイドーシス）の注意事項

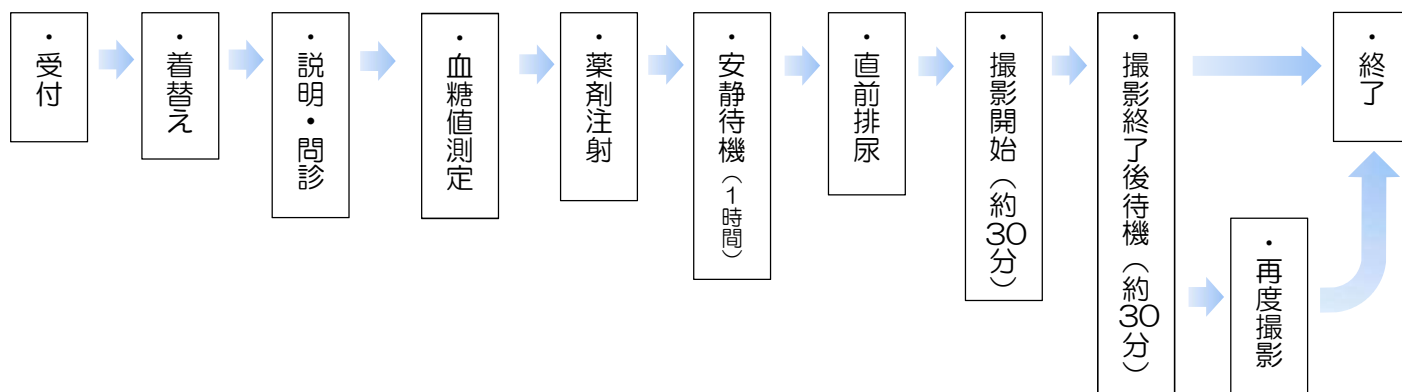
◆ 検査前の注意事項 ◆

- ① この検査は午後の予約になります。検査前の18時間は絶食となりますので、前日の夜8時以降食事を控えてください。
※糖分の含まれていない飲料（水、お茶など）は飲んで構いませんが、市販の飲料には糖分が含まれているものが多数ありますので、飲む前にご確認下さい。またアメ、ガム等も食べないで下さい。
- ② 検査当日の糖尿病内服薬やインスリンの注射は中止して下さい。それ以外のお薬は、通常通り服用してもかまいません。
- ③ 検査前日からは、飲酒、スポーツや肉体労働等激しい運動はお控えください。

◆ 検査当日の注意事項 ◆

- ① 当日は薬剤を注射する前に、問診、血糖測定、着替え等の準備に時間が必要です。時間にゆとりを持ってお越しください。
- ② 専用の検査着に着替えて頂きます。その際、専用ロッカーに金属類（※時計・ヘアピン・貴金属・入れ歯・補聴器・コルセット等）を外して収納して頂きます。（※スウェット等全く金属が付いていない衣類の持参はかまいません。）
- ③ 薬剤の注射後、薬剤が体内に行き渡るために1時間程、待機時間がありますが、筋肉を動かすと薬剤がその部分に集積してしまいます。そのため、会話やスマートフォンの操作、読書なども検査結果に影響しますので、お控えください。
- ④ 撮影には概ね30分程度かかります。体を動かさないよう御注意ください。
- ⑤ 撮影終了後、体内の薬剤が減少するまで30分程度の待機時間がありますが、1度目の撮影結果から、追加の撮影を行う場合があります。

3. 検査当日の流れ・・・



※ この検査は、注射から検査終了まで、概ね2～3時間程度かかります。

4. 検査費用について

保険適応の3割負担の方で、約3万円程度になります。

5. 検査のキャンセル及び変更について

この検査に使われる薬剤は、使用できる時間が非常に短い性質である上に、患者様お一人ごとに製造されていますので、急なキャンセルや検査時間に遅れることのないようお願い致します。なお、場合によっては、薬剤料をお支払い頂く場合があります。

<< キャンセルの連絡 >>

検査日の前日の16時迄に画像センター受付まで連絡してください。

(※前日が休日の場合は、検査前最終診療日の16時迄です)

市立札幌病院 画像センター ☎ 011-726-2211 (内線 5322)

6. その他

- * 当検査に使用する検査薬が道路状況や天候悪化などの理由で、定刻に到着しなかった場合や万一の機器トラブルなど、やむをえず検査を中止する場合があります。
- * 検査当日に測定する血糖値の値によっては、検査を中止する場合があります。
- * PET-CT 検査は、トンネル状の装置内で撮影されます。閉所恐怖症など検査に不安がある方は、主治医と御相談し十分納得された上で検査を受けてください。
※事前に検査室の見学等を希望の方は、各診療科主治医に御相談ください。
- * 当検査室では、監視カメラにて各部屋の進行状況等を把握し、アナウンスにて御案内しています。その際の画像は録画するなどプライバシーを侵害するような事は、一切ございません。
- * 検査前日に、こちらから検査時刻等の確認のお電話をさせていただきます。